



南部町立南部中学校 学校だより 第1号

# チーム南部中

令和3年 4月15日(木)

校長 望月和彦

## 令和3年度の南部中学校が始まりました

春は別れと出会いの季節です。先月25日に11名の教職員を送り出し、学校は寂しい気持ちに包まれましたが、春休みが終了した4月6日、2・3年生が登校し、最初に新しい先生方の新任式を行いました。望月美彦先生、望月泰志先生、松山京介先生、渡邊武志先生、稲葉里美先生、佐野希先生、佐野舞先生、朝夷孝明先生、ロレンソ先生の9名です。以前に本校や町内の学校で勤務経験のある先生や町内にお住まいの先生もいますが、本校や南部町での勤務が初めての先生もいます。しかし、9名の先生方はそれぞれ素晴らしい力や教育に対する情熱を持った方々です。南部中の良き文化に9名の先生方の力を加えて、さらに南部中教育をレベルアップさせていきたいと思ひます。新任の先生方のあいさつに続き、佐野遥斗生徒会長が堂々と歓迎の言葉を述べました。



新任式に続いて、令和3年度1学期の始業式を行いました。卒業式、修了式と同じように校歌はCDを流し、一人ひとり心の中で歌うという形をとりました。谷川俊太郎さんが作詞、久石譲さんが作曲してくださった本校校歌は全国に誇れる校歌です。CDに納められた市川高校音楽部が歌ってくれた校歌を聞きながら、早く全校生徒で思い切り歌える日が来ることを祈りました。続いて3人の代表生徒が新年度の抱負を発表しました。2年生の柿島瑛心さんは「先輩という立場になりました。集団で声を掛け合うことで昨年度の課題を改善し、成長していきたい。」3年生の望月菫羽さんは「3年生として集団の先頭に立って、学校を創っていきたい。また、後輩の手本としてふさわしくありたい。」生徒会代表の中野綺萌さんは「2年生は先輩として、3年生は最上級生として、人任せにせず“気づき、考え、行動”していきましょう。そして3月の集会で確認した①身の回りの課題の改善 ②行動に責任を持つ ③仲間との関わりを大切にす ④視野を広げる の4つの目標を意識していきましょう。」代表3人の発表は中身の濃い立派なものでしたが、それを聞いている2・3年生も目と心で発表を聴いていて大変素晴らしかったです。張り詰めた空気の中、「この一年間、生徒も教職員も力を合わせてより良い学校づくりに頑張ろう」という決意を感じた始業式でした。

新任式に続いて、令和3年度1学期の始業式を行いました。卒業式、修了式と同じように校歌はCD

を流し、一人ひとり心の中で歌うという形をとりました。谷川俊太郎さんが作詞、久石譲さんが作曲してくださった本校校歌は全国に誇れる校歌です。

CDに納められた市川高校音楽部が歌ってくれた校歌を聞きながら、早く全校生徒で思い切り歌える日が来ることを祈りました。続いて3人の代表生徒が新年度の抱負を発表しました。2年生の柿島瑛心さんは「先輩という立場になりました。集団で声を掛け合うことで昨年度の課題を改善し、成長して



いきたい。」3年生の望月菫羽さんは「3年生として集団の先頭に立って、

学校を創っていきたい。また、後輩の手本としてふさわしくありたい。」生徒会代表の中野綺萌さんは「2年生は先輩として、3年生は最上級生として、人任せにせず“気づき、考え、行動”していきましょう。そして3月の集会で確認した①身の回りの課題の改善 ②行動に責任を持つ ③仲間との関わりを大切にす ④視野を広げる の4つの目標を意識していきましょう。」代表3人の発表は中身の濃い立派なものでしたが、それを聞いている2・3年生も目と心で発表を聴いていて大変素晴らしかったです。張り詰めた空気の中、「この一年間、生徒も教職員も力を合わせてより良い学校づくりに頑張ろう」という決意を感じた始業式でした。

## 新たな仲間40名の入学

2・3年生はコロナ対策のため今年度の入学式も出席することはできませんでしたが、式の前日、新入生のために歓迎の気持ちを込めながら式場づくりと1年教室の飾り付けを行ってくれました。そして4月7日、真新しい少しぶかぶかの制服を着た新入生40名が保護者とともに登校し、令和3年度の入学式を行いました。佐野和広町長様をはじめ8名の来賓の方々のご臨席のもと、入場時には少し緊張していた新入生も、学級担任の呼名には堂々と「はい」と応え、式に臨む姿勢もとてもすばらしかったです。「人生に夢があるのではなく、夢が人生をつくる」という話をしてくださった入月一巳教育長さんの話を聴く態度も大変立派でした。そして、新入生代表の滝井ひなのさんが「小学校で友だちと助け合うことを学んできました。中学校では勉強や部活動を両立させて、目標に向かって努力していきたいです。不安もありますが、先生方よろしくお祈りします。」と爽やかに誓いの言葉を述べてくれまし



た。その言葉に対して、在校生として唯一出席した佐野遥斗生徒会長が「“初心忘るべからず”という言葉をお大切に、目標に向かってくじけることなく努力を続けていってください。僕たちも精一杯応援していくので、ともに南部中学校を盛り上げていきましょう。」と温かい歓迎の言葉を述べました。新入生40名が加わり、全校生徒は昨年度より20名減り135名になります。135名と教職員30名で力を合わせて、一人ひとりが大切にされ、生きていくための様々な力を身につけられる学校づくりに取り組んでいきたいと思えます。また、本校はコミュニティ・スクールとして「地域とともにある学校づくり」にも力を入れています。保護者や地域の方々のご支援、ご協力を引き続きよろしくお願いいたします。



私は式の中で次のような話をさせていただきました。

…(略)… 皆さんは、統合11年目の新たなステージを迎える本校で、中学校生活の第一歩を踏み出すことになります。今日から3年間、同級生や先輩たちとともに、思う存分、学ぶ楽しさや創造する喜びを味わいながら、自分自身の力を高めていってほしいと思います。本校が目指している「生徒の姿」をお話しします。

一つめは「ふるさとを愛し、自他の良さを認め合い、絆を大切に生徒」です。本校は南部町にある唯一の中学校として、「地域とともにある学校づくり」に取り組んでいます。豊かな自然や伝統と文化、温かい人情のあるふるさと南部を愛し、仲間や地域に誇りを持てる生徒になってほしいと思います。さらに、仲間の良さを認め合い、いじめや差別などは絶対に許さない人間になってください。仲間や先輩たちと様々な活動に取り組むことを通して、南部中生徒としての強い絆をつくってほしいと思います。

二つめは「社会の規範・秩序を守り、健康でたくましく生きる生徒」です。小学生から中学生になり自分で考えることができる一方、社会の中の一員としての役割や責任も大きくなります。一人ひとりが安心して学ぶ生活できるより良い集団、より良い学校、より良い社会を築くための決まりやルールにはどんなことが必要かを考え、実行できるようになることです。そして、体育や部活動などを通して、人生をたくましく生きていくための基盤となる健康な体と強い心を身につけてください。

三つめは「真理を追究し、夢の実現に向けて努力できる生徒」です。学校はこれからの人生を生きていくための知識や技術、考え方や関わり方を学ぶ場です。授業や様々な活動の中で、様々な人との関わりの中で、「正しいことは何なのか」「どうすることが自分や仲間のためになるのか」「より多くの人々が幸福になるためにはどうすることが良いのか」を考え、学び、身につけていってほしいと思います。小学校では先生の指示に従って行動することが多かったと思いますが、中学生になると先生や家族からアドバイスを受けながらも、自分自身で考え、判断していくことが多くなります。正しい判断をするためには、物事には様々な見方、考え方があることを知ることが必要です。この3年間で多くのことを学び、考え、体験するなかで、自分自身の判断力や行動力を高めていってください。そして3年後には、自分に最もふさわしい進路を選択し、人生を切り開く力を身につけていってください。

…(略)…

## 令和3年度の南部中教職員です。よろしくお願いたします！

分掌・担当	氏名
校長	望月 和彦
教頭	内田 勝久
教務主任	山之内 進
養護教諭	佐野 舞
事務職員	朝夷 孝明
学校司書	若尾 圭
用務員	高山 朱美
ALT	ロソソ・モンソソ
1学年主任	望月 美彦
1年副主任・あじさい担任	稲葉 里美

分掌・担当	氏名
1年A組担任	佐野 希
1年B組担任	千野 彩佳
1学年所属	松山 京介
2学年主任	保坂 伸也
2年A組担任	岩崎 真也
2年B組担任	飯島 健太
2学年所属	高橋 黎
3学年主任	山本 佳久
3年副主任・ふれあい担任	望月 泰志
3年A組担任	雨宮 文

分掌・担当	氏名
3年B組担任	遠藤 浩正
3学年所属	青木 直之
3学年所属	渡邊 武志
非常勤・支援員・相談員	佐野美佐子
非常勤講師	遠藤 喜大
非常勤講師	前田 幸子
特別支援員	青山 真弓
特別支援員	井上 裕子
部活動指導員	石川啓一郎
スクールカウンセラー	深澤 守男